

キャラクター名	プレイヤー名
“オルトロス”オールド・メドヴェージ	

シンドローム	キュマイラ		ワークス	FHマーセナリーA		カヴァー	犯罪組織グリム“幹部”	
	オルクス			年齢	38歳		性別	男性
オプション			年齢		38歳			性別
覚醒	憤怒			衝動	闘争		初期侵食率	
出自	天涯孤独		経験	伝説		邂逅	居場所	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	3	1	1			5	行動値	3
感覚	1		0			1	(非装備時)	3
精神	1		0			1	戦闘移動	8
社会	3		0			3	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	5		調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報: FH	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の品					
ウェポンケース					
コネ: FH幹部					

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ リス 消費
アイテムユーザー(装着者)	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P:	6	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:キュマイラ	3	2	メジャー	至近	自身	-		
効果: 判定のC値-Lv(下限値7)								
復讐の刃	3	3	リアクション	至近	単体	白兵		
効果: リアクション放棄して攻撃/C値-Lv(下限値7)								
フルパワーアタック	3	4	セット	至近	自身	自動	80%	
効果: 行動値0にして、攻撃力+「Lv×5」点								
力場形成	5	3	セット	視界	単体	自動		
効果: 攻撃力+「Lv×2」点								
クイックダッシュ	1	2	セット	至近	自身	自動		
効果: セットアップで移動可能								
縮地	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 1SLv回/好きな場所に移動可能								
神獣撃	3	4	メジャー	武器	単体	白兵	80%	
効果: 攻撃力+「Lv+1」d10/攻撃後/完全獣化解除								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	肉体		
効果: 肉体の判定ダイス+「Lv+2」個								
獣の王	1	2	メジャー	至近	自身	白兵	100%	
効果: 1S1回/リアクション不可								
力の法則	3	4	オート	視界	単体	自動		
効果: 他人の攻撃に+「Lv+1」d10追加								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動		
効果: 1SLv回判定の出目を1つ「10」にする								
知性ある獣	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 完全獣化しても武器を使用可能								
リフレッシュ	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: BSを解除								

【設定: 元FH戦闘部隊『ムーンドック』に所属していたFHマーセナリー。反撃重視の戦いを得意としており、『ムーンドック』の中でも護衛任務に付く場合が多い。本人は2.5mという巨体を持ち、更に完全獣化を使用すると6mもの巨人へと変貌し、10人でやっと持つほどの大剣であるトツカをまるで片手剣の様に振るって敵を薙ぎ払う。彼は天涯孤独であり、その腕っ節から一番稼げる傭兵という職に就いて、各地を転々としていた所、FH幹部であった“ドックマスター”鷹条 映一にスカウトされ『ムーンドック』に所属した。その後、彼と共に10年以上の間、戦場を駆け巡っていたが、その際にFHから抜けたマスターエージェント“白灰袍”の捕獲を依頼される。結果、敗北したが袍は殺すどころか逆に自身をスカウトしてきた。殺さぬ代わりに自分の下で働けという、文字通り自分の命を買われ、犯罪組織『グリム』に所属した。尚、鷹条映一との付き合いはまだ続いており、FHではないが、仕事の依頼があれば受けるような関係になっている。】

